

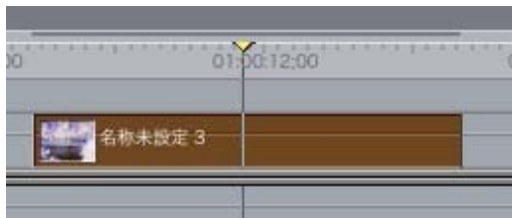
FxScript Trial

SpotLight

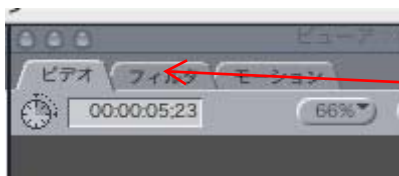
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

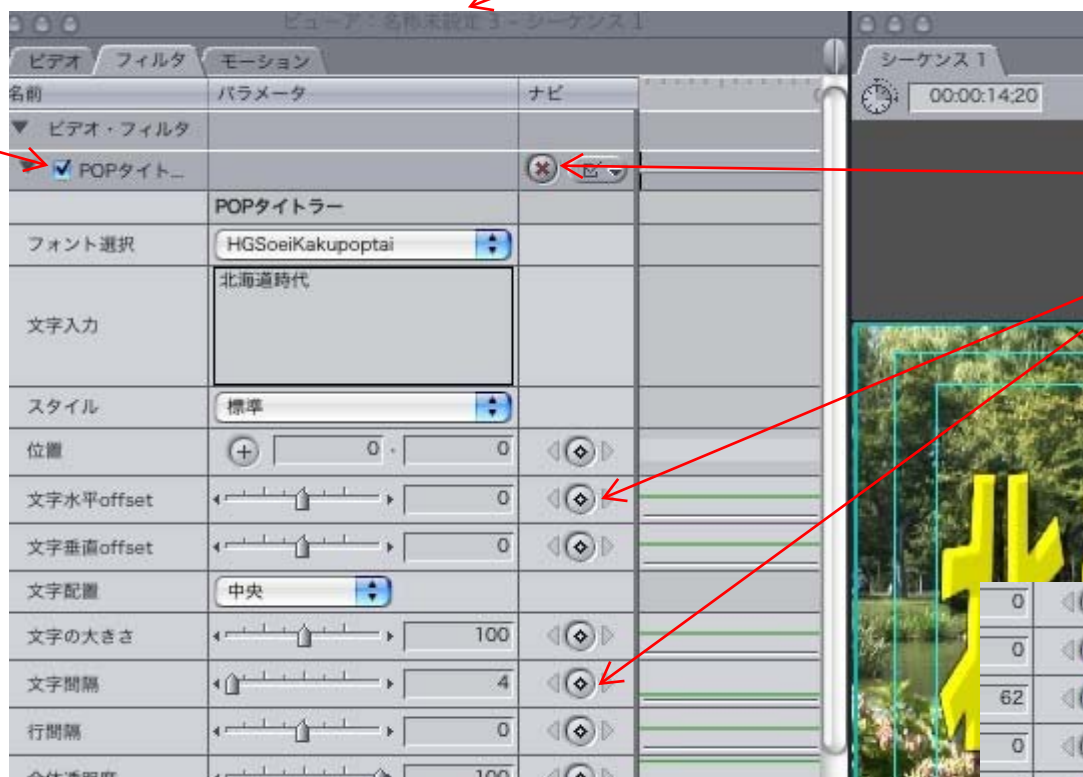


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変わる。



画像に設定されたプラグ

SpotLight

SpotLightは舞台等の円形スポットライト効果と書籍等の縦と横に視線が注目するライト効果を狙っており付属の設定を使う事により更に注目効果が強まるように設計されています。



全体の透明度の設定を行います。

マスクの形を円が長方形に選択します

スポットライトの縦と横の位置を設定します。

全体の大きさを設定します。

横の大きさを設定します

縦の大きさを設定します

効果とマスク周辺の境界のボケ具合を設定します。

スポットライトの回転角を設定します。(主に書籍等の効果時に)

マスク内の映像の露出の調整

傾向色の強度

傾向色設定

マスクの外側にある映像の傾向色の強度

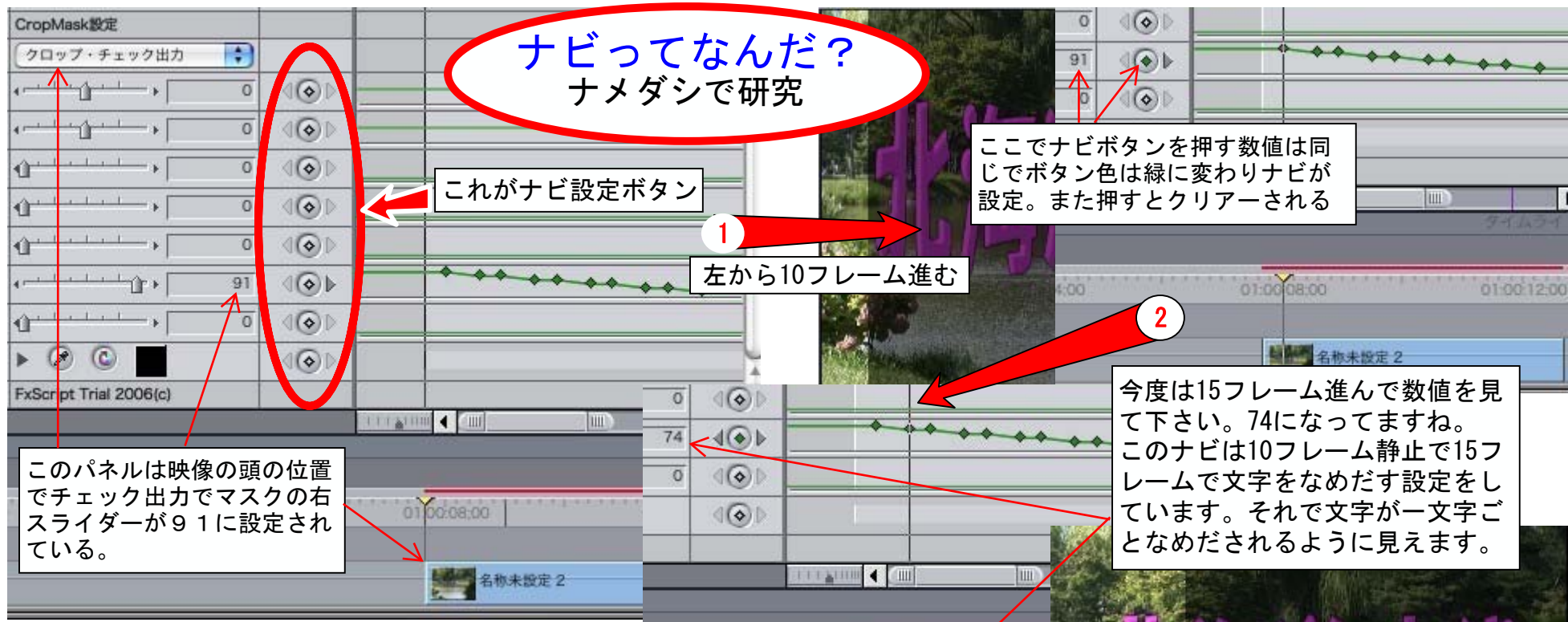
マスク外側の傾向色

マスク外側にある映像をボカす。

マスク外側の映像の輝度を調整する強度設定

輝度を下げる場合の傾向色設定 (デフォルトは黒)

デモご購入はココをクリック



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

2
今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

デモ映像を見る
クリック

3



ナビゲーションの説明
ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。
フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。

